

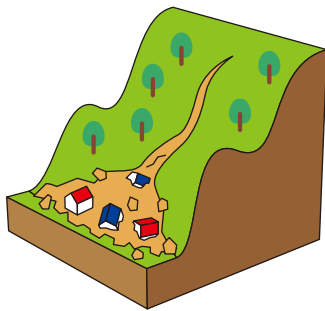
6 <平常時確認> 土砂災害について

▶ 土砂災害の種類

土砂災害には、土石流・地すべり・がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)の3種類があります。このような種類の土砂移動現象が発生して被害を受けることを土砂災害といいます。

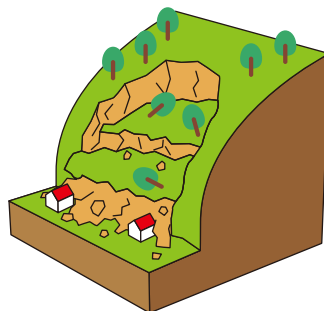
土石流

谷や斜面に溜まった土・石・砂等が、大雨による水とともに一気に流れ出す現象。スピードが速く、破壊力も大きいので、広範囲に大きな被害が出る。



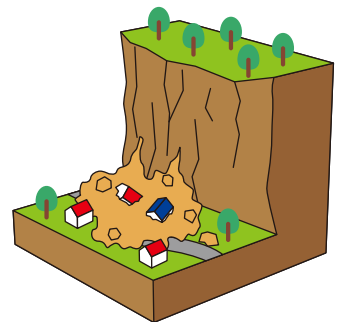
地すべり

比較的緩やかな斜面で地中の粘土層等がゆっくりと動き出す現象。一度に広範囲で発生するので、住宅や道路等に大きな被害が出る。



がけ崩れ

地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れ等で被害が大きくなる。



▶ 土砂災害の前兆現象

突然やってくる土砂災害。しかし、よく観察してみれば土砂災害にもいくつかの前兆があります。それらの前兆を理解し、いざという時に備えましょう。

土石流



川の水が濁り、流木が混じり始める。

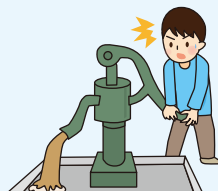


雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。

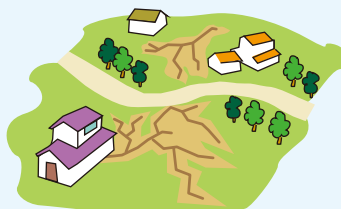


山鳴りがする。腐った土の臭いがする。

地すべり



地下水や湧水の急激な変化で、井戸の水が濁る。



地割れができる。(農地や道路・家屋の周辺等に、亀裂が生じる)



斜面から水が噴き出す。(家や樹木、電柱が傾いたり、倒れたりする)

がけ崩れ



がけから小石がパラパラ落ちてくる。



斜面に亀裂やはらみがみられる。



がけから水が湧き出ている。